

リニア新幹線 NEWS・みやまえ No.1

発行：リニア新幹線を考える宮前の会 発行責任：山本太三雄 090-8775-1879

発行日：2012年10月30日

リニア新幹線は必要か？—住民が知らないうちに計画を進めるな！

9月17日ヨネッティの「リニアを考える」住民集會に98名が参加

9月17日、「リニア建設の問題点」を考える集會【主催：リニア新幹線を考える宮前・麻生の会】が開かれました。ヨネッティ周辺の潮見台、犬蔵、王禅寺で地質調査、大気質調査、動植物調査が行われており、この辺りをリニアのトンネル、立坑が造られるのではないかとみられています。

自然保護協会の辻村千尋さんが、南アルプスや1年に6mも隆起する中央構造線の下にトンネルを掘るリニア中央新幹線は自然破壊に加えてとても危険と話されました。

会場を埋めた住民からは「立坑から膨大な残土が排出され、毎日ダンプが行きかうことになるが、安産対策は？」「電磁波の影響は？」などの質問が出されました。



10月7日麻生市民館に130名が参加—「説明会開催」の要請を採択

10月7日のシンポジウム「リニア新幹線は必要か？」では「リニアの計画について何も知らなかった」「JR東海もデータを出さないし、メディアも取り上げないのはなぜか」という意見が出され、JR東海に「住民説明会を速やかに開催するよう求める」要請書を採択しました。

10月19日JR東海、川崎市まちづくり局に住民説明会開催を要請

10月19日、リニア新幹線を考える宮前の会と麻生の会は、JR東海の中央新幹線推進本部・東京

リニアとは

超伝導磁気浮上方式で走る列車。レールも架線もない。電磁石の反発力と吸引力で地上10mに浮き上がり走行する。その際強力な電磁波が発生する。運転は変電所からの遠隔操作で行われ、運転士はいない。ドイツでも開発されたが、2006年に実験の過程で大事故が起こり、計画が断念された。中国・上海ではドイツ方式で実用化されている。JR東海のリニア中央新幹線は、時速500kmで走行し、東京～名古屋、東京～大阪をそれぞれ40分、67分で結ぶ。

環境保全事務所を訪れ、氷見所長に住民説明会早期開催の要請文を手渡しました。氷見所長は「開かないとは言わない。自治体と調整して」と返答しました。

その後、川崎市のまちづくり局に行き、交通政策室・丸山課長にJR東海の対応を伝え、説明会開催の要請文に9月17日と10月7日の集会で出された会場からの質問を添えて渡しました。丸山課長からは「住民の質問を添えてJR東海に説明会をするよう橋渡しする」と確約を得ました。

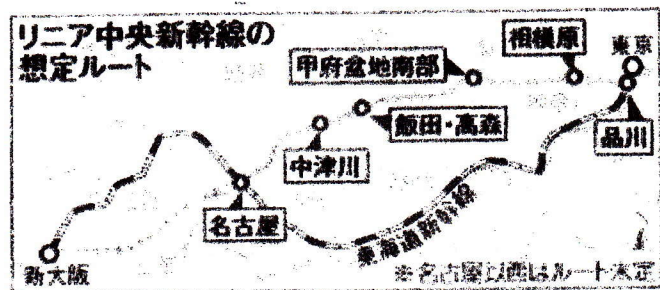
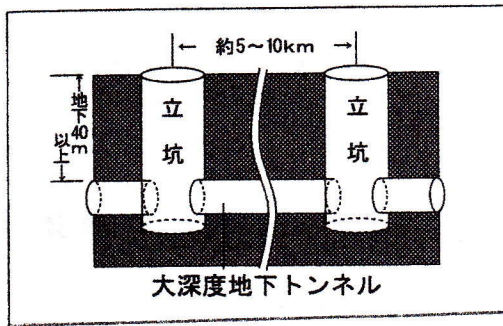
10月30日、丸山課長からJR東海より「再度の説明会を検討する」と返答があった旨、連絡がありました。

リニア中央新幹線の 8 割はトンネルの中

川崎市は地下 40m にトンネルを掘削。5～10 km 毎に立坑建設

JR 東海はリニア中央新幹線の工事を 2014 年に着工したいとしています。住宅が密集している川崎市では地下 40m の「大深度」にトンネルを掘ります。トンネルの排気口や残土排出口として 5～10 km ごとに立坑が造られます。立坑が建設されると、工事完了までの 10 数年間にわたってトンネル工事で掘り出した土砂を積んだ車両が行き来し、騒音や振動が生活を脅かします。リニアが走行するようになれば、立坑付近で発生する気圧波や振動に電磁波、地震・火災等事故発生時の対応など、地域住民にとって直接影響する問題となります。

潮見台、犬蔵、王禅寺、等々力緑地などでリニア建設のための環境調査が始まり、「立坑の予定地か、もしくはトンネルのルートか」とみられています。



私たちはリニア新幹線について、次のような疑問をもっています。

- 超電導リニア技術は十分な情報公開がなく、本当に乗客の安全が保障されるのか？
- 高圧線の 10 倍といわれる電磁波の、乗客や沿線住民への影響はどうか？
- 近い将来予測される首都圏直下型地震や、多くの活断層や中央構造線がある沿線周辺で大地震が発生した場合、乗客の安全はどのように保障されるのか？
- 全長の 8 割が地下トンネルといわれる工事で、排出される膨大な土砂の量や搬出・処理方法はどうか？ 工事に伴う騒音、地下水枯れ、動植物等の自然破壊の恐れは？
- 在来新幹線の 3 倍といわれる電力の消費は、原発の稼働を前提にしたものではないのか？
- 9 兆 300 万もの建設資金の調達はどうするのか？ 将来、膨大な費用を国民負担にする恐れは本当にないのか？

リニア新幹線を考える宮前の会

私たちは、昨年の JR 東海の説明会のあと、納得いかない思いで勉強会を始めた宮前区民の集まりです。JR 東海や自治体にリニア新幹線について情報公開を要求し、住民が納得できない建設計画の凍結を求めています。誰でも参加できますので、ご連絡ください。

連絡先：山本太三雄 090 - 8775 - 1879